

熊本県産業振興ビジョン2011 後期アクションプラン【概要版】

(1) 策定の趣旨

熊本県産業振興ビジョン2011で目指す2020年の本県産業の未来像「選ばれるくまもと」を実現するリーディング産業群の形成」を実現するために、今後5年間の具体的な取組みを取りまとめたアクションプランを策定する。

(2) 計画期間

平成28～32年度（2016～2020年度）までの5年間

(3) 推進体制

熊本県産業振興ビジョン進捗評価委員会において、PDCAサイクルによる検証を行う。

【後期アクションプランの針路】『不断のイノベーションへの挑戦と企業価値の最大化』～ 働きたい熊本へ ～

アクション1 産業構造の変化に向けたアクション

(1) 新たな情報技術等を踏まえた新産業の創出

- ・自然共生型産業の推進（アグリ・バイオ・ヘルスケア・食品加工等）
- ・新たな材料技術を活用した新産業の創出（例：有機エレクトロニクス、KUMADAIマグネシウム合金 等）
- ・地域企業からのグローバルニッチトップ企業の創出
- ・地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）と連携した産業振興と雇用の創出
- ・中小企業・小規模事業者の販売力強化や生産性向上への支援

(2) 戦略的企業誘致の推進

・研究開発部門等の誘致、本社機能移転、誘致企業等と地場企業との事業連携・マッチング、地場企業の本社機能の拡充

(3) 世界で躍動する海外展開の推進

・関係機関との連携による地域企業の海外展開支援

(4) 起業の促進

・起業教育、ビジネスコンテストの開催、大学・金融機関等とのネットワークの充実

(5) 産業インフラの整備促進

・阿蘇くまもと空港の拠点性向上、熊本港・八代港の物流機能向上に向けた施設整備

等

アクション2 地域企業の高付加価値化に向けたアクション

(1) リーディング企業創出の加速化 ～上場企業の創出を目指して～

(2) 支える ～選ばれる企業のためのサポート体制～

- ・くまもと産業支援財団の基金事業のあり方と産業支援機関との連携方策の見直し

(3) 育てる・迎える ～選ばれる企業を実現する人材の育成・確保・還流体制～

- ・若年者や大手企業等の人材を掘り起こすUIターン促進
- ・地域企業における中核人材の育成支援
- ・地域企業のブランド価値の向上を促進
- ・若手人材の育成・確保に向けた職業能力開発校の連携方策の見直し
- ・女性が輝き活躍できる環境整備の推進
- ・子どもの頃からの就労観・職業観の醸成に向けた教育機関との連携推進

(4) 交わる ～交流・オープンイノベーション推進体制～

(5) 拡げる ～選ばれる企業としての認知度向上～

等

アクション4 県域外からの収入獲得に向けたアクション

(1) 海外展開の支援機能の充実

- ・TPPを契機とした新市場開拓支援体制の強化
- ・JETRO等専門性の高い機関との連携による支援強化
- ・民間による地域企業の海外展開の促進

(2) 県境を超えた取引拡大の推進

- ・大手企業への共同提案会の開催支援

(3) 人的ネットワークの開拓及び活用

- ・留学生の積極的な受入れや地域企業への就職促進、国際感覚を有する人材の登用

等

アクション5～9 重点成長5分野のフォレスト形成

アクション5 セミコンダクタフォレストの形成

- ◆ 研究開発の成果を活かした有機エレクトロニクス分野の事業化推進

アクション6 モビリティフォレストの形成

- ◆ 電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）、バイクの普及啓発
- ◆ 「稼ぐ力」の確立に向けた販売力強化や生産性向上の取組み推進

アクション7 クリーンフォレストの形成

- ◆ 燃料電池等の水素エネルギー関連分野への異業種からの参入推進

アクション8 フード&ライフフォレストの形成

- ◆ 食やバイオ等の自然共生型産業分野における高付加価値製品の開発支援
- ◆ 医療・福祉現場のニーズを捉えた新製品の開発支援

アクション9 社会・システムフォレストの形成

- ◆ IoT、AI、ビッグデータ等の普及を見据えた人材育成

等

アクション3 連携・融合化に向けたアクション

(1) 試作・新商品開発技術拠点（産業技術センター）の充実

(2) 材料技術支援拠点機能の充実

(3) 異分野（医工・農商工）連携の推進

- ・医療・福祉関連分野への新規参入促進
- ・地域の農産品を活用した加工品の開発・販売促進
- ・農林水産分野とICTの融合による新ビジネス創出

(4) 事業革新支援拠点（くまもと産業支援財団）の充実

(5) 産業人材の育成・確保

等

「選ばれる熊本」を実現するリーディング産業群の形成